



集落支援員の活動報告 中津川から



中津川の集落支援員となって約2か月が過ぎました。始まったばかりととらえるか、もう2か月にもなるのかという思いが入り混じった2か月でした。支援員の仕事として、まず地域の巡回・点検をして状況を把握するというのがあげ



られます。住人の人たちは今困っていることはないだろうか？ 地域の中で問題があるところはどこだろうか？ なにか支援できることはないだろうか？ この2か月は現状をまず把握するという観点から巡回にあたってきました。

中津川では29年度から「福祉型小さな拠点づくり事業」に取り組んでいます。高齢化率55パーセントのこの地域では住民同士の支え合いが不可欠とのことから独自の仕組みづくりを模索しています。私も中津川の5組のゆうゆうクラブ、一人暮らしのお宅数件を回り困りごとを中心に話を聞きました。これらももとにしながら、これから公民館運営員のみなさんとともに具体的な仕組み作りを考えていきたいと思っています。



ゆうゆうクラブのみなさん

ここ中津川は自然が主役です。このなによりも恵まれた緑の自然を資源ととらえ観光、特産品の開発なども視野に入れて、さまざまな人に話を聞いています。



山菜料理教室

中津川にはむらづくり協議会があり、いろいろな活動を行っています。5月に行われた30年度第一回

むらづくり協議会委員会に参加しました。これからも積極的に協議会に協力をしていきたいと思っています。

6月末に「集落支援用アンケート」を、地域の全世帯に配りました。そしてそれらを参考にこれからの活動の基本に据えていきたいと思っています。 よろしくお祈りします！

中津川地区集落支援員 細瀬里久子



老朽化の進む瑞穂寮視察

